

## 「動く台風 24 号を持ち帰る(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

**\*今回の実践で使用した、「台風 24 号の時系列 18 枚」の衛星赤外面像は、2 ページ目、3 ページ目に拡大画像があります。印刷してご使用ください。**

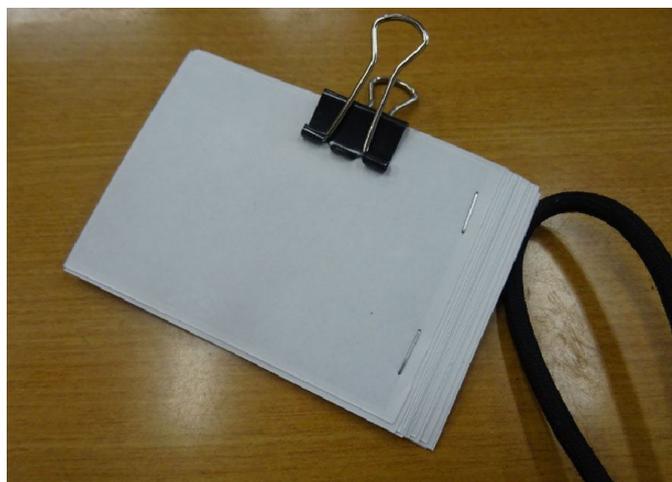
集めた衛星画像は、1 枚ずつ切断したものを教室の棚に順番に置き、(2 枚とらないように) 注意深く重ねてとらせた。



実はこの作業が意外にも時間がかかり、あとの活動を圧迫してしまった。配り方には少し工夫が必要だと思ったが、いい方法が思い浮かばない。



全部のカードをもらったら、トントンをして、右端を少し「ずらした」状態で、クリップで挟む。こうしておくと、指でめくるとき、2 枚同時にめくる「誤動作」を防ぐことができ、台風が「動きやすく」なる。この作業は子どもによっては難しいので、教師がやってあげたほうが良い。



うまくずらして重ねたら、裏側からステープラーで 2ヶ所を綴じる。最後に氏名と「2018 年台風 24 号」と書かせておいたほうが良い。



完成した「パラパラ台風」素早くめくると、台風の数日間の動きが 2 秒で見られる。ゆっくりめくると、台風の形状や目の大きさの変化の様子がよくわかる。直前に日本に近づいた台風なので、子どもたちは何度も何度も観察して、その後大切に持ち帰った。

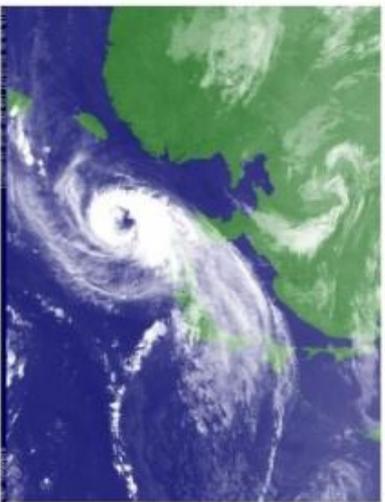
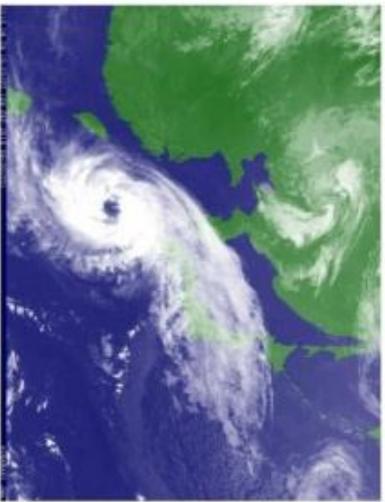
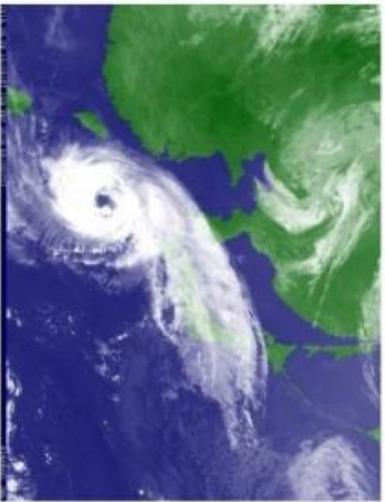
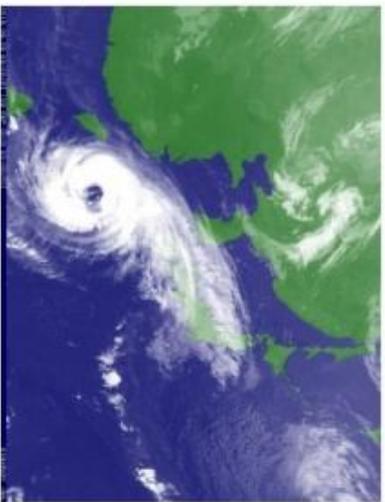
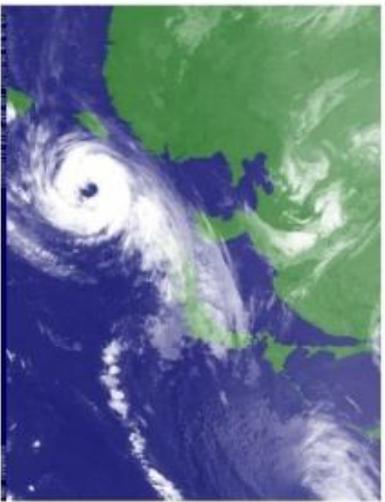
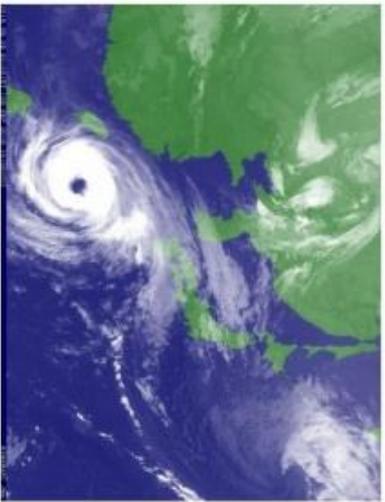
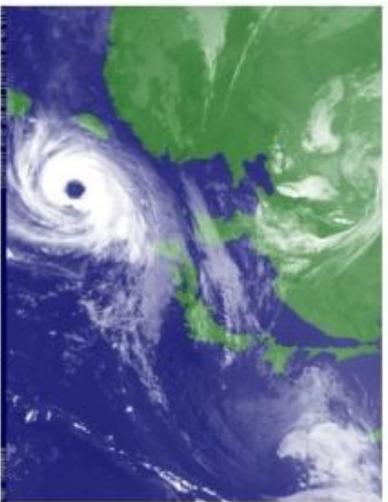
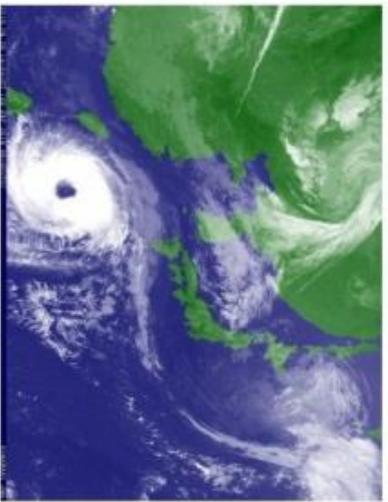
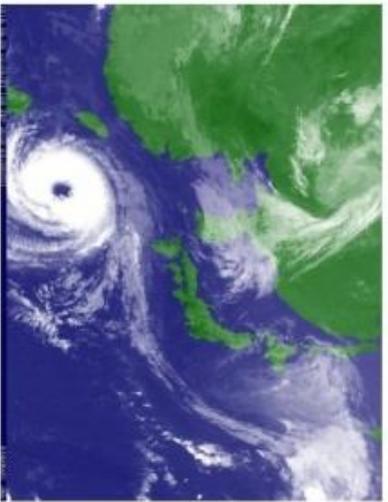
### 【子どものノートから】(\*筆者注)

「最初は 18 枚の台風のカードを、ただノートにはって、台風の動きを考えるのかなと思っていました。でも、カードを重ねて、パラパラめくったら、台風が動いて見えたので、びっくりしました」

「台風が九州らへんで、右に(\*東に)向きを変えていくことは知っていたけど、このパラパラ台風をゆあってみると、そのことがよくわかった」

「ただの紙に印刷した台風なのに、本当の動画みたいに動いて見えるのが、とてもふしぎでした」

「ゆっくりめくると、台風の目の変化がわかった。海の上では目が大きくてはっきりしていても、陸にあがると目が消えて、台風も形がくずれた」



7

4

1

8

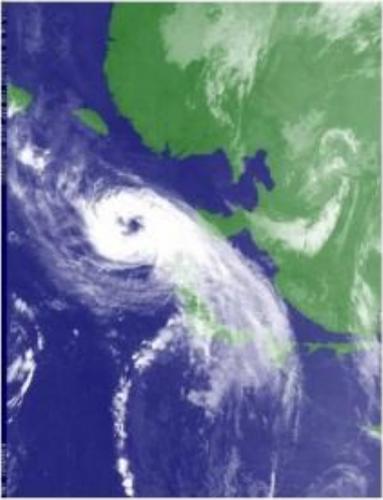
5

2

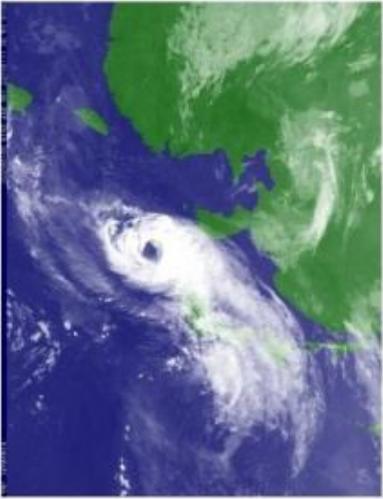
9

6

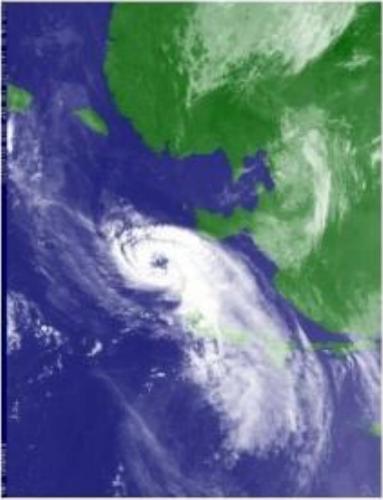
3



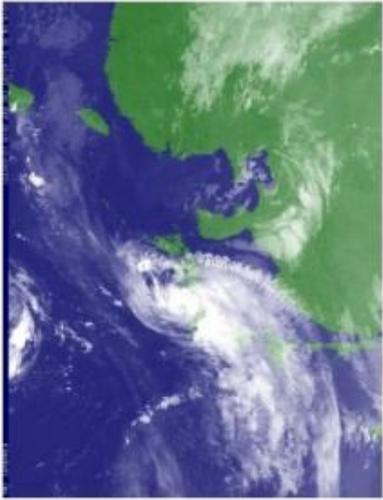
10



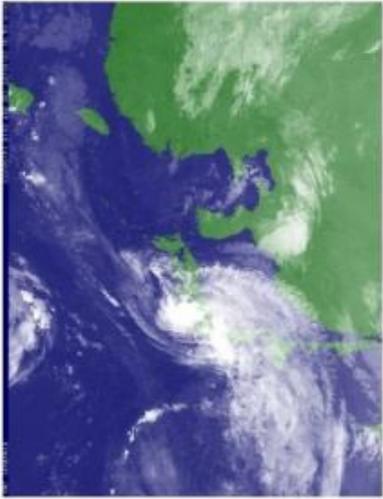
11



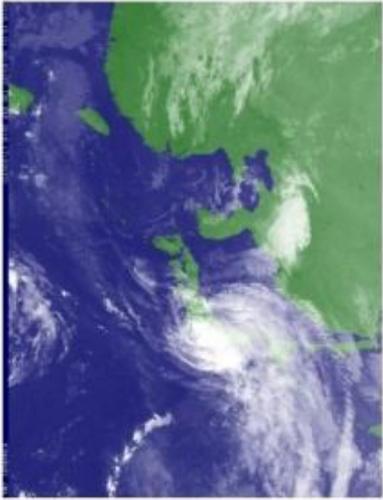
12



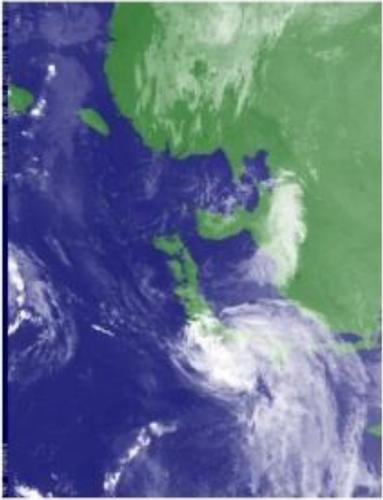
13



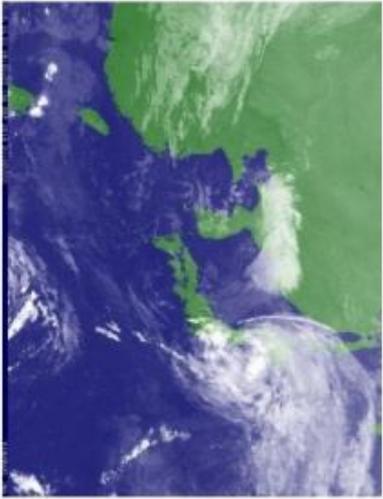
14



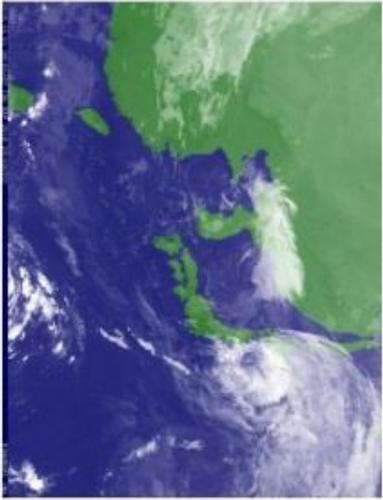
15



16



17



18